

2008年7月3日

Alan1.net 第1回 海外旅行に関するオンライントラベラー実態調査を実施 ～計画的、強い目的意識が主流トレンド～

アラン株式会社(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:荒木篤実 以下、アラン)は、2008年6月24日～30日、下記サイトにおいて海外旅行に関するオンライントラベラー(インターネットで旅行商品を購入するユーザ)実態調査を実施しました。

調査サイト: <http://app.formassembly.com/forms/view/24545>

今回の調査(有効回答数:422、母集団:Alan1.net会員(会員数:約9.5万人))では、海外旅行にいこうと思う「動機」から、渡航先(目的地:デスティネーション)を選ぶ際に重視するポイント、そして渡航後に現地で楽しみにしていること、などについて、購買プロセス、定量・定性調査の各面から分析することで海外旅行に対する世代間の意識の差を探ることを調査目的のひとつとしました。

興味深い結果のひとつに、「渡航先の選定」に関する意識差をあげることができます。全世代に共通してポイントが高かったのが、「予算内でいけること」(全体平均:62%)、「渡航先で自分のしたいことができること」(全体平均:67%)で、しっかりとした計画性と、旅行先で何をするかという強い目的意識がみられます。今後もこのトレンドはオンライントラベラーの主流トレンドになっていくものと分析しています。

一方で、20代、30代では、「初めていくところであること」(20代:29%、30代:34%)、「一緒にいく人と相談して決める」(20代:27%、30代:25%)、などが次に重要なポイントであるのに対して、50代では、これらがそれぞれ19%、16%と低めで、世代間での「意識の差」が、うきぼりになっていることがわかります。さらに興味深いのは、「次の海外旅行では誰といっしょにいきたいか」、という質問に、ほとんどの世代で「家族と一緒に」を一位にあげていること(全体平均:63%、ただし20代では31%)です。

このように「Alan1.net」では、「ユーザ目線でマーケットを創造する」をテーマに、オンライントラベラーの実態や動向調査を以後も定期的に実行。長年のマーケティング会社としての経験を活かし、魅力的な、しかしあまり知られていない隠れた世界中のヒット商品をどんどん提供することで、業界活性化に役立てたいと考えています。

【報道関係者様からのお問い合わせ】アラン株式会社 PR <mailto:pr@alan.co.jp>

【「Alan1.net」について企業・商用サイト運営者様のお問い合わせ】 <mailto:alan1@alan.co.jp>

【アランについて】

「Alan1.net」(<http://www.alan1.net/>)とは、世界中の海外オプショナルツアーや直接オンラインで予約できるサービスで、取扱範囲は、26カ国、74都市、催行会社数500社以上、商品数2,700以上(2008年7月2日現在)、業界最大規模を誇ります。予約できるサービスは、通常のオプショナルツアーやスパ、ショーチケット、クルーズ、レストラン予約など、23カテゴリー以上のアクティビティになります。アランは、常にマーケットのニーズを的確に分析するITマーケティング会社。従来の業界の常識にとらわれない視点から世界中のあらゆるサービスを積極的に商品拡充することで、オンライン予約化が進む旅行需要のさらなる活性化に貢献していきます。

〒162-0837 東京都新宿区納戸町12 第5長森ビル3F アラン株式会社 代表取締役社長 荒木 篤実